

(様式第 2 号) 表面

尼崎市長 様

令和 年 月 日

住 所 (備考) 2 参照	(〒)
氏 名 (備考) 3 参照	
電話番号	
メールアドレス	
職 業	
生年月日	年 月 日生

鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可申請書

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第 9 条第 2 項の規定（並びに同法第 9 条第 8 項及び同法施行規則第 7 条第 7 項）※により、鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可を受けたいので、以下により申請します。

捕獲等をしようとする鳥獣又は採取等 をしようとする鳥類の卵の種類及び数 量	(備考) 4 参照
捕獲等又は採取等の目的	(備考) 5 参照
捕獲等又は採取等の期間	
捕獲等又は採取等の区域	(備考) 6 参照
捕獲等又は採取等の方法	(備考) 7 参照
捕獲等又は採取等をした後の処置	(備考) 8 参照
学術研究を目的とした場合にあっては 研究の事項及び方法	(備考) 9 参照
鳥獣保護区等において、捕獲等又は採取 等しようとする場合にあってはその旨	(備考) 10 参照
狩猟免許を受けている場合は当該免許 の種類、免許を与えた知事名狩猟免状の 番号及び交付年月日	(備考) 11 参照
銃器を使用する場合は、銃砲所持許可番 号、許可年月日及び銃砲の種類	(備考) 12 参照
備 考	(備考) 15 参照

- <添付資料> 1 縮尺 5 万分の 1 以上の地形図（捕獲の場所を明らかにしたもの）
2 使用する捕獲用具に係るその構造、設置方法等を示す図面
3 複数人が同一の目的で捕獲に携わる場合で捕獲区域や方法も同一の場合、
「鳥獣の捕獲等及び鳥獣の卵の採取等の許可申請者名簿（別紙 1）」
4 捕獲等が研究者等からの依頼による場合は、「鳥獣捕獲依頼書（別紙 2）」

※法人申請で、従事者証の交付申請も同時に行う場合は（ ）を外し、それ以外の場合は（ ）内の文字を抹消すること。

(様式第 2 号) 裏面

- (備考) 1. 法人申請（当該申請において、法人申請を行うことができるものは、法第 9 条第 8 号に規定する法人（国、地方公共団体その他環境省令で定める法人）に限るものとし、従事者証を交付する場合。以下同じ。）で、従事者証の交付申請も同時に行う場合にあっては、（ ）を外し、従事者証の交付申請を同時に行わない場合若しくは個人申請の場合は（ ）内の文字を抹消すること。
2. 住所欄には、法人申請（従事者証を交付する場合）の場合以外は、所属機関の所在地ではなく、申請者本人の自宅の住所を記載すること。
3. 氏名欄には、複数人が同一の目的で捕獲に携わる場合で捕獲区域や方法も同一の場合には、氏名欄の下に「ほか○名」と人数を記入し、代表者（班長とすること）を含み「鳥獣の捕獲等及び鳥獣の卵の採取等の許可申請者名簿（別紙 1）」に必要事項を記載の上、添付すること。
法人申請の場合は、その法人の長の名前を記入し、従事者は従事者名簿（鳥獣の捕獲等及び鳥獣の卵の採取等の許可申請者名簿（別紙 1））に必要事項を記載の上添付すること。
4. 捕獲の頭（羽・個）数は、各人別に割り振られた頭（羽・個）数を記載すること。また、1 頭を共同で捕獲するような場合においては、合計○人で 1 頭というように記載すること。
5. 目的欄には「学研究（生態調査）」「有害鳥獣捕獲（農林水産業被害防止）」等、捕獲等をする事由を記載すること。
6. 区域欄には、都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番（地先）等を記入し、捕獲の場所を明らかにした縮尺 1:50,000 以上の地形図を添付すること。
7. 方法欄には、使用する捕獲用具の名称を記入し、その構造、設置方法等を示す図面を添付すること。なお、麻酔銃を使用する場合は、使用薬名及び施用量を添付資料として記載すること。
8. 処置欄については、捕獲個体の捕獲後の処置の方法について、「計測後放鳥」、「飼養」、「飼養又は処分」、「譲渡はしない」、「標本は○頭以内」、「埋設処分」、「焼却処分」、「自家消費」等と記入すること。
9. 研究の事項及び方法欄には、学術研究を目的として捕獲等又は採取等を行うとする場合にあっては、研究の事項及び方法について、詳細に記入すること。
10. 鳥獣保護区等の記入欄には、鳥獣保護区、休猟区、公道、自然公園法第 21 条第 1 項の特別保護地区、都市計画法第 4 条第 6 項の都市計画施設である公共空地その他公衆憩楽の目的で設けられた園地であって囲い又は標識によりその区域を明示したもの、自然環境保全法第 14 条第 1 項の原生自然環境保全地域、社寺境内、墓地、銃猟禁止区域、銃猟制限地域又は猟区内において捕獲等又は採取等を行うとする場合にあっては、その旨を記載すること。
11. 狩猟免許に関する記入欄には、申請者（法人にあっては捕獲等に従事する者）が狩猟免許を現に受けている場合にあっては、当該狩猟免許の種類、当該狩猟免許を与えた都道府県知事名並びに当該狩猟免許に係る狩猟免許の番号及び交付年月日を記載すること。
12. 銃砲所持許可番号及び許可年月日の記入欄には、銃器を使用して捕獲等を行うとする場合にあっては、当該銃器の所持について申請者（法人にあっては、捕獲等に従事する者）が現に受けている銃砲刀剣類所持等取締法第 4 条第 1 項第 1 号の規定に係る許可番号及び許可年月日を記載すること。
13. 捕獲等が研究者等からの依頼による場合は、鳥獣捕獲依頼書（別紙 2）を添付すること。
14. 用紙のサイズは日本工業規格 A 4 版とすること。
15. 「備考」欄には、他の法令の規定により行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものについて、その法令名、適用条項及びその手続状況を記載すること。（様式第 2 号）

記入例

令和 年 月 日

実際に捕獲を行う方の住所、氏名を記入してください。
(会社組織として捕獲を行う場合は、会社等の住所、会社名、代表者名を記入してください)

住 所 (備考) 2 参照	(〒661-8501) 尼崎市東七松町 1 - 2 3 - 1
氏 名 (備考) 3 参照	尼 崎 太 郎
電話番号	〇〇〇〇-〇〇〇〇
メールアドレス	ama-nosei@city.amagasaki.hyogo.jp
職 業	会社員
生年月日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生

鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可申請書

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第 9 条第 2 項の規定 (並びに同法第 9 条第 8 項及び同法施行規則第 7 条第 7 項) ※により、鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可を受けたいので、以下により申請します。

捕獲等をしようとする鳥獣又は採取等をしようとする鳥類の卵の種類及び数量	イタチ 2 匹 (備考) 4 参照
捕獲等又は採取等の目的	有害獣捕獲 (備考) 5 参照
捕獲等又は採取等の期間	令和〇〇年〇月〇日～令和〇〇年〇月〇日
捕獲等又は採取等の区域	尼崎市〇〇町〇〇 (備考) 6 参照
捕獲等又は採取等の方法	網 その他手取り、箱ワナ (備考) 7 参照
捕獲等又は採取等をした後の処置	焼却 その他埋却など (備考) 8 参照
学術研究を目的とした場合にあっては研究の事項及び方法	 (備考) 9 参照
鳥獣保護区等において、捕獲等又は採取等しようとする場合にあってはその旨	〇ヶ月 又は 許可日～令和〇年〇月〇日 という記載も可能です。
狩猟免許を受けている場合は当該免許の種類、免許を与えた知事名狩猟免状の番号及び交付年月日	原則、許可日数は許可日から起算します。 期間は最大 3 ヶ月です。
銃器を使用する場合は、銃砲所持許可番号、許可年月日及び銃砲の種類	 (備考) 12 参照
備 考	 (備考) 15 参照

- <添付資料> 1 縮尺 5 万分の 1 以上の地形図 (捕獲の場所を明らかにしたもの)
2 使用する捕獲用具に係るその構造、設置方法等を示す図面
3 複数人が同一の目的で捕獲に携わる場合で捕獲区域や方法も同一の場合、
「鳥獣の捕獲等及び鳥獣の卵の採取等の許可申請者名簿 (別紙 1)」
4 捕獲等が研究者等からの依頼による場合は、「鳥獣捕獲依頼書 (別紙 2)」

※法人申請で、従事者証の交付申請も同時に行う場合は () を外し、それ以外の場合は () 内の文字を抹消すること。